

大妻多摩中学校

二〇一七(平成29)年度

入学試験問題(第三回合科型「Ⅱ型」)

〔作文試験〕

時間 60分

2月4日(土)

【注意事項】

- 1 問題は4ページまであります。
- 2 指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 3 ページが抜けていたり、印刷が見えにくい場合には、手をあげて知らせてください。
- 4 答えはすべて、問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 5 問題冊子の5〜6ページは下書き用として活用してください。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

かなり以前から、「ほめ育て」という言葉が流行っているようです。家庭でも学校でも社会でも、この言葉に惑わされているような気がして仕方ありません。

5 ほめなければいけないと思うあまり、ほめるタネを一生懸命探しまわって、過ちを見逃してしまうことがあるのではないのでしょうか。食事のとき、ガツガツ食べる様子を見て、元気でいいねとその無作法な食べ方に目を向けなかったり、お箸の持ち方さえ親がきちんと教えていなかったりしているようです。

人は(注)無垢で生まれてくるものです。こうした些細なことでも、人から注意を受けなければ身につけることができません。また、生涯間違いを犯さずに生きることができないのも人間の特徴です。必ず過ちもしますし、間違ったこともします。ですから、それをしっかりと正してくれる人間、教えてくれる人間が必要なのです。

10 大人に本気で叱られ、それに真剣に応えるところに、ほんとうの心の交流も生まれます。うわべだけほめられただけで、素晴らしい師弟関係や親子関係が生まれると考えるのは大きな間違いです。

厳しく叱られてこそ、ほんとうに心が通じ合うことができます。間違えたときにしっかりと叱られるから、ほめられることもまた、ほんとうに心に響いて喜びを感じるのではないのでしょうか。

15 私は、師匠(秋山大僧正)にいつも叱られていました。叱られ通しの人生だったと言ってもいいくらいです。しかし、そのおかげで今の自分があるのだと思っています。叱られることは、すなわち教えられることだったのです。師匠に厳しく叱られなければ気づかなかったことがじつにたくさんありました。

また叱られ通しただけに、たまにほめられたり、必要とされていることが実感できたりしたとき、ほんとうにうれしく感

じました。

真夏に(注2) 護摩を焚いて(焚いた)いると、言うまでもなく暑いのですが、護摩が終わってから皆さんのほうを向いて合掌(がっしょう)したとき、前から来る風が何とも言えず涼しくてありがたく感じます。

20 俳句でも「涼しい」という言葉は夏の季語ですが、暑さがあって初めて涼しさがわかるというものです。

最近の子どもたちは、携帯電話にリストアップされた友達の数が多いことを誇りに思っている(ほこ)と聞きました。「こんなたくさん(ほん)さんの友達がいる」という人づきあいのよさを自分のよりどころとしているのでしょうか。

25 しかし、その中のいったい何人の友人が、自分に対して注意してくれたり、違った意見を言ったりしてくれるのでしょうか。自分にとって都合のいいことだけを言う友人は、ほんとうの友人ではありません。「それは間違っている」と、悪いことは悪いと言ってくれる友こそが、ほんとうの信頼できる友達です。

十代の彼らに「親友」の数を聞いてみると、十人ぐらいという答えがもつとも多いといえます。親友といえは多くても二、三人、一生(めい)巡り合えないこともあるくらいなのに、この数字は普通ではありません。おそらく、親友のほんとうの意味がわからず、単なる遊び友達を親友と称しているのでしょう。耳に痛いことを言う人間は親友ではない、すぐに離れてしまえばいいと勘(かん)違いしているのです。

30 お互いに話を合わせて妥協(たごう)していたのでは進歩がありません。真剣に意見を戦(たたか)わせて(注3) 切磋琢磨(せつさくたくま)しながら向上(じやうじやう)していけるところに、友人関係の(注4) 醍醐味(だいごみ)があるはずです。

ほめられてばかりで育った人間は、叱られることに慣れていません。ですから、叱られたという事実(じじつ)そのものに衝撃(しやうげき)を受け、叱られたことに感謝(かんしゃ)するどころか、相手を恨む(うら)ようにさえなります。

35 これでは、叱られたことが無意味(むぎ)になってしまいます。そういう意味でも、叱られないことは一生の不幸(ふこう)と言えるのではないかと思います。

「優しく、厳しく」

私は、新生児の祈願きがんや七五三などで寺を訪れる親御おやごさんたちに、いつもこの言葉を贈ります。幼いころから、叱るときにはきちんと叱るのが、ほんとうの親です。

ただ優しいだけでは、親として失格です。社会のルールをしっかりと教え、やっていいこととやってはいけないことの区別をきちんと教えることが親の務めです。

たとえ法律で禁止されていなくても、やってはいけないことが世の中にはたくさんあります。これは(注5) 暗黙の了解事項で、「慣習法」と言われます。

ホリエモンと呼ばれてもてはやされた堀江貴文ほりえ たかみさんも、「お金儲けをして何が悪いのですか」とうそぶいた村上世彰むらかみ よしあきさんも、その出発点は、「法律で禁じていないのだから、やってもいい」という発想だったようです。

45 彼らは「そこまではやらないものだ」というある一線を越えてしまったのです。大人になるまで、東大に入る勉強はしても、社会のルールを教えられるチャンスがなかった不幸な人たちだと言えるかもしれません。

こうした大事件に発展しなくても、「暗黙のルール」というものは日常の至るところにあります。たとえば、食べることにひとつとつてみても、その人の育ってきた環境や人間性というものが表れます。ましてや歩きながらものを食べるなんてもつてのほかでしょう。

(川澄祐勝『叱られる幸せ』[サンマーク出版]より)

注

1 無垢——心身に何も付いていない、まっさらな状態。

2 護摩——密教で、木を燃やして仏に祈ること。そのようなことをするを「護摩を焚く」という。

3 切磋琢磨——仲間と励まし合って努力し、お互いに向上していくこと。

4 醍醐味——物事の本当の面白さ。 5 暗黙の了解——言葉で確認しなくても理解していること。

問 あなたが経験した「叱られた体験」の例を挙げて、本文の内容もふまえながら、自分自身が成長したことを四百字程度でまとめなさい。

《解答する上での注意》

- ・ 縦書きで書くこと。
- ・ 書き出しと段落の最初は、一マス空けること。
- ・ 句読点や「」「」なども原則として一マス使うこと。ただし、行の先頭にきてしまう場合は、前の行の最後のマスに付け加えること。
- ・ 文末の表現は「です・ます」でも「だ・である」でもよいですが、文体は統一して用いること。

メモ欄 5～6ページは下書きに使ってもよい。

下書き用

